

# 中信高校山岳部かわらばん

編集責任者 大西 浩

池田工業高等学校

池工が白馬なら縣陵は穂高・・・松田大氏が書いてくれました

## 今年の紅葉はイマイチでした 縣陵山岳部秋山穂高合宿より

この三連休、今年も穂高へ行ってきました。昨年は初日が悪天候のため急遽、二泊三日の日程を一泊二日に変更し、初日横尾天泊、翌早暁から涸沢・奥穂・ロバの耳までをピストンし、その日に松本まで帰るという超強行軍の一泊二日であったが、参加した生徒共々、素晴らしい紅葉と天候に満足したのが、つい昨日のようであった。今年も女子も参加するので、とても横尾から奥穂のピストンは難しいと、端から涸沢二泊の予定で計画した。新島々7:15発のバスは無理矢理2台に詰め込まれ、補助シートまで満杯であった。もしも2、3名の登山者がいたらどうするつもりだったのだろうか？上高地に着くとやはり人の多さは想像通りというかそれ以上であったが、天候に恵まれた三連休だから当然と変に納得して出発した。

今合宿参加者は1、2年の全部員11名の予定で、内3人が模試のため一日遅れで、この日の参加者は2年男子1名が風邪で当日ドタキャンとなり、2年男子2名、女子2名、1年男子2名、女子1名、引率2名の計9名と結構な人数になっていた。雑踏の中を明神までは左岸の一般道を歩いた。ここからは何時ものように右岸の作業道を歩いたが、こちらは殆ど歩く人がいなくて静かな林間歩きを楽しめた。横尾の人の多さにも感動？した。トイレ待ちの行列の長さにも変に感心、11時前だというのにテント場はほぼ満杯状態であった。しかしこの時はきっと涸沢も込んでいるだろうな一程度にしか思わなかった。登山道に入ると直ぐに長蛇の列状態となったが、そこそこには進め、本谷橋の混雑を避け手前で休憩した。しかし本谷橋から上では渋滞状態となり、歩いている時間と止まっている時間が拮抗しているという状態になってしまった。そんな状態なので涸沢到着は15時を大きく回ってしまった。

涸沢に着いて驚いた。テントを張る場所が無いのだ。テントの数と云ったら半端ではない。どう見ても五百は遥かに超えている。ひょっとしたら千張り近くもという状態で、生まれて初めて見る景色であった。あちこち探し回って漸く池の西側にテントを張り終えたのは16時を大きく回っていた。何しろ何時もは絶対にテントなんか張らないところもテントだらけであった。幕営届けを出したが、届け済みのプレートは出尽くして無いという状態だから、テントの数の多さも察しが付くだろう。もちろん無届のテントもかなりあったらと思う。涸沢ヒュッテも涸沢小屋も混雑の極みで、売店も便所も長蛇の列。楽しみにしていた生ビールも列の長さに嫌気がさし断念した。後で聞いた話だが、この日のヒュッテは布団一枚に4人が泊まったという。すさまじい混雑だが、小屋関係者はニンマリであったらと思う。生徒たちは相変わらず元気で、消灯予定を過ぎても寝ないで小生に一喝された。

明朝は冷えて霜でバリバリであったが申し分ない好天。紅葉は赤く色付く前に茶色に枯れてしまいガッカリ状態であるが、予定通り、北穂から奥穂に向けて出発。南稜の登りも込んでいるが、女子がいるのでかえって適度のペースで都合がよい。ゴルジュ上の

ガラ場で休憩を入れゆっくり登る。東稜にも多くのパーティーが取り付いていた。誰もバテることなくほぼ予定通りに北穂頂上に到着。360度の景色を楽しみ、生徒に見える山の名前を片っ端から説明してやったが、生徒よりも周囲の登山者の方がよっぽど熱心に小生の説明を聞いてくれて、中には質問までしてくれるお方もいた。

頂上に散々長居をしていよいよ奥穂に向けて出発。日陰、特に滝谷側に先日の雪が残っていて所々嫌らしいたら無い。慎重に歩を進めるが、そのうちに長蛇の列状態になり、鎖場などでは奥穂から来る登山者とのスライドに難儀をする。ザイデングラードも長蛇の列状態で所々渋滞しているのが良く見える。余りにも怖くて声も出ないのか、女子の悲鳴も聞くこともなく漸く涸沢岳の山頂に到着。山頂にも信じられないほどの人がいる。さらには小屋を俯瞰して驚いた。奥穂への上り下りのハシゴ場が渋滞して動いていないのだ。涸沢山頂で聞いた話では待ち時間が一時間とか。奥穂は駄目かナァーと話しながら涸沢山頂で長休み。小屋へ降りてそれでもと下ってきた人に尋ねたところ案の定であった。曰く、上りの待ちが一時間、移動の往復に一時間、下りの待ちにまたまた一時間で、山頂往復に3時間も掛かったとのことであった。

我々は今回は断念とまたまた小屋前で長居をした後に下山開始。幸いザイテンの混雑はたいしたことなく順調に下れた。天場に到着したら後発の4名(生徒3引率1)も到着していた。本日も生ビールは混雑のため断念し、缶ビールで我慢した。生徒は元気だが、年寄りには早々と眠りについた。

三日目朝は霜も露も降りなかったため、テント撤収は楽であった。只トイレ渋滞等もあり、慌てない慌てないと云っていたら出発は8時になってしまった。生徒がパノラマを下りたいと云うのでそれもまた良しとしたが、大変な目にあつた。パノラマコースにこんなに人が入るのかと感心するほどで、直ぐ長蛇の列となり、コルの少し手前で大渋滞に巻き込まれた。一寸したロープを垂らしてある降りがその原因で、慣れない者が躊躇するので混雑に拍車を掛け、何とコルまで2時間半も掛かってしまった。従って屏風の頭は疎か、屏風の耳へも断念して下りを急ぐことになった。コルからはほぼ順調で、女子生徒3人も想像以上に歩け、奥又白谷出会からの作業道などでは、久しぶりの山行の小生もついて行くのがやっとならぬであった。(筒井さんはぶっちぎられた)そんなこんなで15時前に大混雑のバスターミナル着。シャトルバス待ちの長蛇の列を尻目に、新島々行きのバスに殆ど待ち時間無しで乗り込めた。

三連休の涸沢は人が多くて大変だとは聞いていたが想像以上であった。まさか奥穂へ登れないとは思わなかった。パノラマコースがあんなに大変とは思わなかった。等々勝手知ったるつもりでいた穂高で、鮮烈?!な体験を味わえた。そんな思いをしながらも、生徒たちは穂高が気に入って様子で又行きたいと云っている。小生も穂高は好きな山なのだが、混雑時は絶対にごめん被りたい。

## 編集子のひとごと

天下の3連休。涸沢・穂高の様子が目に浮かぶようです。雪が降ったことから、後立山方面は敬遠されたのかな?でもこちら池工も罫温泉の30張りのテントにはビックリ仰天でした。当方の12時間行動もすさまじかったが、こちらの渋滞もすさまじい。我々も3日目の撤収は楽でした。そして紅葉はともによくない。同じ時期の両方の様子を比べて読んでみるとなかなか楽しいものです。他の学校もレポートして下さい。(大西

記)